



LABV で広がる地域再生の可能性

～PPP/PFI インフォメーション Vol.60～

イメージキャラクター
ユーミーマン

皆さん、こんにちは。地域開発部の 徳丸 です。

平年より 2 週間ほど早く梅雨入りした鹿児島ですが、何と 7 月を待たずに梅雨明けが発表されました。九州南部が 6 月中に梅雨明けするのは 1955 年以来 70 年ぶりのことになるそうです。スッキリしない天気が続いてちょっと憂鬱ではあったんですが、梅雨明けした途端に照り付ける日差しの強さにビックリ！夕方の時間帯になってもジリジリと全く衰えない日差しに夏の到来を感じながら「この暑さがしばらく続くの…？」とちょっと途方にくれました。でも夏だからこそ楽しめることもたくさんありますね！体調に気を付けながらこの夏を満喫しましょう♪



さて、このたび内閣府は LABV (ローカル・アセット・バクト・ビークル) の活用に向け「**事例から学ぶ LABV の活用に向けた解説書**」を新たに公表しました。LABV とは、**地方公共団体等が土地等の公有資産の現物出資、民間事業者が資金出資を行って設立する官民共同事業体**のことで、地域資産を基盤とした官民連携の新たなスキームとして注目を集めているようです。

今回の解説書では山口県山陽小野田市のプロジェクトをモデル事業と位置付け、LABV の基本的な仕組み、スキーム設計のポイント、国内外の先行事例、法制度・財政措置との関係などが非常にわかりやすく整理されています。

▶ 解説書 (内閣府 HP) はこちら https://www8.cao.go.jp/pfi/pfi_jouhou/jireishuu/pdf/labv.pdf
跡地や遊休地を活用したいと考えている自治体は多いと思います。今後、地域資産を活用したまちづくりや官民連携事業を検討中の自治体や事業者にとって LABV は有力な選択肢となりそうです。PPP/PFI に関するご相談は地域開発部までお気軽にどうぞ。

ユーミーコーポレーション(株) 地域開発部 村上・今田 TEL : 099-220-7889

